

同和問題 シリーズ

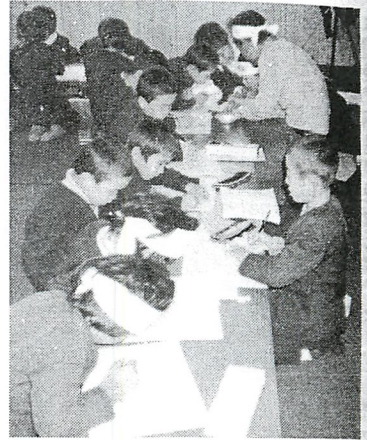
▷ 56

同和地区では、部落差別によって保障されなかった、いろいろな問題を克服するために全住民こぞっての学習活動を展開しています。学習内容は、なんとこれも部落差別に打ち勝っていく人間育成のための解放学習が中心です。その他、一般教養講座、講演会、映画会、生け花・料理

研修会は多種多様

同和地区の学習活動

・着付などの生活課題解決学習、学校関係者の出張PTA、子供会のレクリエーションなど多種多様です。月五〜六回も研修会に参加する人もあり、隣保館、児童館、集会所などで盛んな学習活動が行われています。各地区の婦人部、高校友の会、青年団、子供会、保護者会などが実施している、このような学習会に熱心に参加しているみなさんの活動を紹介いたします。



青年部

月2回 機関紙発行

田村くるみ(三)

一九七九年七月、念願の部落解放同盟協議会古海支部青年部を結成しました。当初六人で活動を始め、自分たちが学習するのが精いっぱいであったのが、今はまだ不じゅうぶんではありませんが、高校友の会(毎週一回)と中三学習会(毎週二回)に一定の援助ができるようになってきました。

そして、機関紙「青年部ニュース」月二回発行、定例会でのテキスト学習(毎週土曜日)を軸に、少しずつですが私たち自身も鍛えられてきたのです。

しかし、一人でも多くの青年に参加してもらえようということ、何よりも重要な課題です。少人数の青年部から青年全体の青年部へと層を広げることが問われています。今までのパターン化さ

人権学習をする倉田地区の馬場子供会の子供たち

「部落差別を許さない」という基本を忘れないで、仲間とよく話し合い、仲間と決まるといふ支部青年部の約束の下に、さらに部落解放運動を推し進めていくことが大切だと考えています。

古海青年部

.....

小学校保護者会

学校と連携で学ぶ

中原美佐男(四)

「子供の低学力をなんとかしたい」と、小学校保護者会ができてからはや八年が過ぎました。

親自身がわが子にはきちんと同和問題を正しく教えないければならぬと思っけています。なかなかうまく教えられません。親たちの受けた厳しい部落差別がわが子に再び振り掛かってくると思えば、ほんとうにいても立ってもおられません。私たち保護者はもつともっと強くなり、そのためには学習を続け、行動を起こさなければならぬと思っています。

本年度から全体学習だけでなく、学年別の保護者会をつくり世話役も決めました。学校と連携しながら各家庭での子育ての悩み、一人勉強(自ら取り組む勉強)の指導の仕方など、ひざを交えて話し合いを進めています。昼間の仕事に続く夜間の学習はほんとうに疲れますが、差別に打ち勝つ強い子供を育てていくため、仲間とともに力いっぱい頑張っています。

西品治小学校保護者会

.....

保育所保護者会

交流会で体験発表

日高 嬌子(三)

私たち下味野保育所保護者会は、保育所職員との座談会(年二〜三回)や親の生き方・幼児のしつけなどをテーマにした交流会、手作り遊具作製、親子遠足などの活動を行っています。

子供会

運動会など楽しく

田村 五月(三)

私たちは、いろいろな面で差別を受けていることを、子供会などの学習会で学んでいます。学習会に参加したとき、なまけていたこともあり、これではいけないと思ひ、どんなときでも強い

心がかえり、涙を流したり、憤ったり、身じろぎもしないほど真剣に取り組む学習会となっています。会員一人一人が子供を良くしていくため、親の生き方をもっともつと学ばなければと話し合っています。しかし、まだ参加しない人たちもいるので、全員参加にまで持っていくのがこれからの大きな課題です。

馬場子供会(倉田小六年)

占め、砂丘に来た回数は、七割近
くが二回以上で、初めての人(三
ち帰っています。砂丘の印象につ
いては、「期待以上に良かった」
とにしてい
ます。
尾がこの年引退 による) 村尾 草樹